最終更新日：令和６年８月９日

研究業績リスト作成基準について

核融合科学研究所職員の教員人事に関する研究業績リストの作成基準は以下のとおりとする。

研究業績リストには始めに

○ 作成年月日

○ 所属・身分・氏名，取得している場合はOpen Researcher and Contributor ID（ORCID ID）を書いて，次の順に論文等を記載する。

（Ⅰ）論文リスト

［（Ⅰ－１）主著論文（および、これに相当する論文），（Ⅰ－２）（Ⅰ－１）以外の論文］

（Ⅱ）国際会議等における発表

（Ⅲ）学位論文

（Ⅳ）著書

（Ⅴ）外部資金獲得

（Ⅵ）受賞

（Ⅶ）特許

（Ⅷ）その他

○ 上記（Ⅰ），（Ⅱ），（Ⅲ），（Ⅳ）は必ず書かなければならない。もしなければ「無し」と記述すること。

○ （Ⅴ），（Ⅵ），（Ⅶ），（Ⅷ）は書いても書かなくても良いこととする。

全体的注意として。

○ パソコン使用のこと。

○ 各ページ右肩に本人の氏名を書く。

○ 各ページ中央下にページを打つ。

○ Ａ４版片面に出力する。

以下，項目毎に作成基準を書く。

（Ⅰ）論文リスト

○ 査読のある学術誌に掲載された論文のみを書く。

○ 査読のある学術誌に掲載決定済みのものも加えてよい。

○ 主著論文（および，これに相当する論文）とそれ以外の論文は別のリストとしてまとめる。（Ⅰ－１）に，主著論文を出版年が新しいものから順に番号を付けて書

く。（Ｉ－２）に，（Ｉ－１）以外の論文を出版年が新しいものから順に番号を付けて書く。

○ 著者，タイトル（イタリック体が望ましい），学術誌名の順に一つの論文を書く。

○ 著者は全員書く。

○ 本人名の下にアンダーラインを引く。

○ 名前は原則として Taro Yamada，Hanako Suzuki のように書く。場合によっては，T. Yamada，H. Suzuki でもよい。

○ 学術誌は完全な名前（正称）を書く。その後に巻数，出版年，論文 ID もしくは引用ページを書く。登録されている場合は，Digital Object Identifier（デジタルオブジェクト識別子，DOI）を可能であれば書く。

○ 日本語で書かれた論文は日本語で書く。

○ 英語，日本語以外の言語で書かれた論文は，その言語で書き，そのあとに英語訳を添付すること。英語訳のある論文は（例えばＪＥＴＰなど）英語訳論文とともに原著論文も書くこと。

（Ⅱ）国際会議などにおける発表

○ ＩＡＥＡ，ＥＰＳ，ＡＰＳ，など国際会議で発表した論文を書く。ただし，本人が発表したものに限る。会議名，開催場所，開催年月日を記載し，会議録（proceedings）があればその巻・号・年・ページを書く。

○ 書き方は（Ｉ）の論文リストに従う。会議名は完全なもの（正称）を書く。

○ 原則として年代順に書くこととするが，会議毎にまとめてもよい。

○ 各々に出席，出席・口頭発表，出席・ポスター発表，出席・座長などを書く。（出席しなかった場合は何も書かない）

○ 日米協力等のワークショップでの発表は書かない。（書きたいときは（Ⅷ）のその他の欄に書くこと）

（Ⅲ）学位論文

○ 修士論文　タイトル，取得年月，大学名を書く。

○ 博士論文　タイトル，取得年月，大学名を書く。

（Ⅳ）著書

○ 著者名，本の名，出版社，発行年を書く。

（Ⅴ）外部資金獲得

○ 科学研究費補助金，受託研究費，共同研究費，奨学寄附金，研究助成金等に関して書く。

○資金の名称，研究期間（年度），研究課題名又は研究テーマ，金額（総額），代表者と分担者の別を書く。

（Ⅵ）受賞

○ 学術的成果への受賞に関して書く。

○ 受賞年月，授賞学会・機関，賞の名称を書く。

（Ⅶ）特許

○ 発明等の名称，番号，発明者，登録日あるいは出願日を書く。

（Ⅷ）その他

○ 著者にとって重要と思われる印刷物等を書いてもよい。例えば学会誌の解説記事等。ただし，論文リストと重複しないものに限る。

○ 書き方は（Ⅰ）に準ずるものとする。